

学校だより

かみさくのべ

令和8年度

学校だより

令和8年5月25日

川崎市立上作延小学校

6月

互いに尊重し合える人間関係を築いていくために。

校長 清水 弘彦

子どもたちが育てているさまざまな植物も、暖かな夏の日差しと子どもたちのひたむきな世話によってすくすくと成長をしています。今年度は例年5月に開催されていた運動会が10月末に移行されたことにより、例年よりも穏やかな毎日のように感じられます。各学年の廊下を見てみると、たくさんのこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいたり、自分を紹介すべく、好きなものやことが掲示されていたり、図工の学習で作成した自信作が飾られていたり、他学年からのメッセージが掲げられていたりそれぞれの学年の今までの成果が表れていました。

さて、先月行われた引き取り訓練では、たくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。すべての方が整然と順番を守り、校舎内を移動されていました。災害はいつ起こるか分かりませんが、常に子どもたちの安全を最優先にしたうえで、訓練の成果を生かしつつ安全に引き渡すことができるように、日頃から経路や引き渡し方法を想定しておく必要性を感じました。

先日代表委員会が行われたときに、「上作延小学校のいいところよくしたいところ」を各クラスで話し合ってもらいたいと伝えられ、各クラスで熱心に話し合いが行われました。「いいところ」としては、①みんなが優しくてにぎやか②給食がおいしい③笑顔であいさつしてくれる④他学年の子たちや地域の方との交流が多いという意見が集まりました。一方「よくしたいところ」としては、①時間の切り替えを早くしたい②ルールを守る③悪口を言わないようにする④暴言をはいている人を減らしたいという意見が集まりました。「いいところ」に関しては今まで通り、みなさんで力を合わせてよりよく伸ばしていくことができるように努力していきます。一方同様にみなさんで力を合わせていくことが「よくしたいところ」にも表れています。それは、「悪口を言わないようにする」とこと、「暴言をはいている人を減らしたい」ということです。子どもたちとかかわっていると時折「死ぬ」「殺す」という言葉を耳にします。この言葉にもつ凶暴さ、恐ろしさに対してあまり考えることなく使われているのではないのでしょうか。このような言葉の暴力は身体的な暴力と同等で、相手を精神的に追い込む力をもっていると言えます。学校経営計画でお示しした「豊かな心を育み互いに尊重し合う学校」とともに、子どもたちからあがった声「悪口を言わないようにする」「暴言をはいている人を減らしたい」ことを生かすため、心身ともに安心・安全で健康な学校にしていくために、この言葉の暴力をこの学校からなくしていくべく、教職員一同一丸となって努力していきます。もちろん、この努力は学校だけでできることではありません。保護者の皆様や地域の皆様とともに力を合わせることで効果が生み出されます。ぜひこれからの上作延小学校のためにお力を貸していただければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

